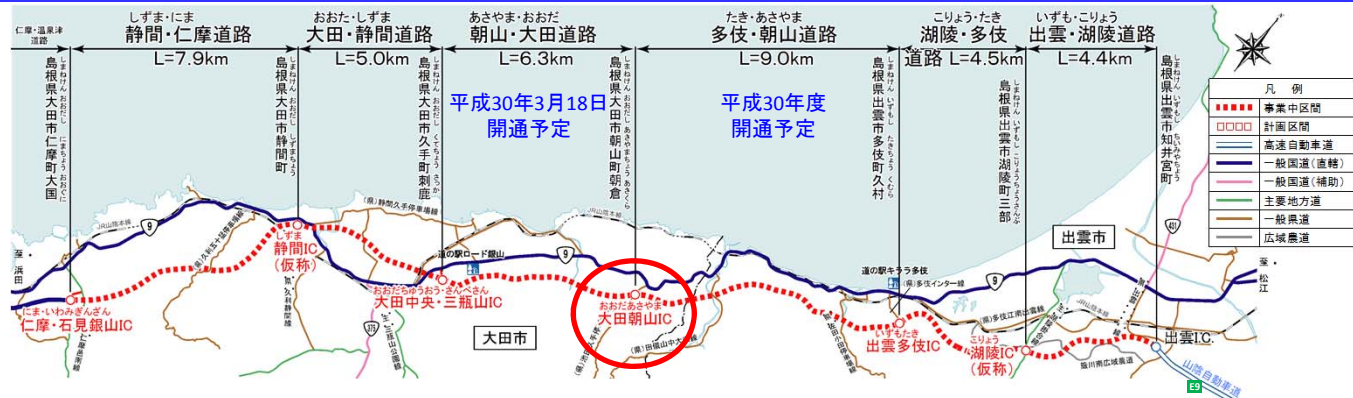


山陰道大田朝山インターチェンジに ラウンドアバウトを導入します

～重大事故の減少、逆走防止などに大きな効果～

◆場所



◆大田朝山インターチェンジラウンドアバウトイメージ



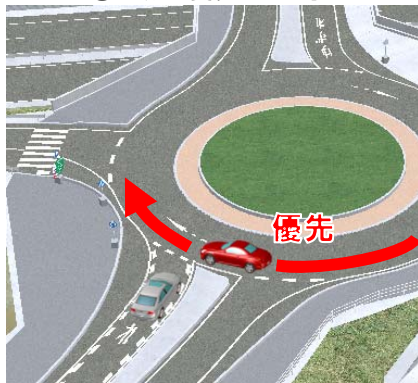
◆ラウンドアバウト（環状交差点）の通行方法

①時計回り(右回り)通行



- ・環道内は右回り。左回り禁止です。
- ・入るときは徐行しましょう。

②環道優先で通行



- ・環道内を走行している車両が優先です。
- ・環道内での駐車・停車は禁止です。

③出るときに合図(ウィンカー)



- ・左折の合図は出ようとする地点の直前の出口の側方を通過したときです。



国土交通省 松江国道事務所 計画課（問合せ窓口） Tel: (0852) 26-2131 Fax: (0852) 25-9438
 HP: <http://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/>
 島根県警察本部 交通規制課 Tel: (0852) 26-0110
 大田市建設部 事業推進課 Tel: (0854) 82-1600 Fax: (0854) 82-9732

平成30年1月

◆環状交差点とは

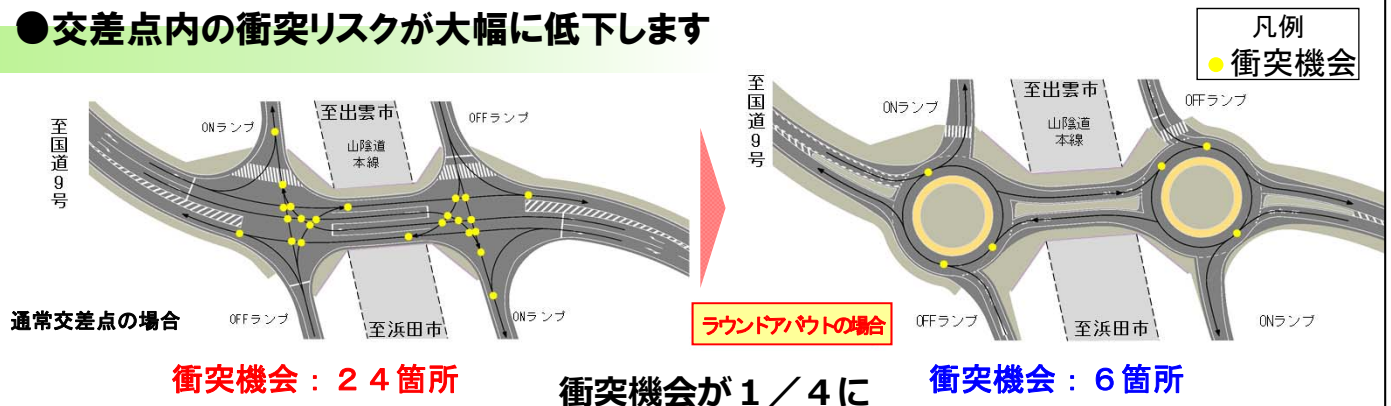


- 環状交差点とは、車両通行部分が環状で道路標識により、車両は「時計回り(右回り)」に通行することが指定されている交差点です。
- 平成26年9月の道路交通法改正で適用可能となり、交通安全対策として各地で採用されています。

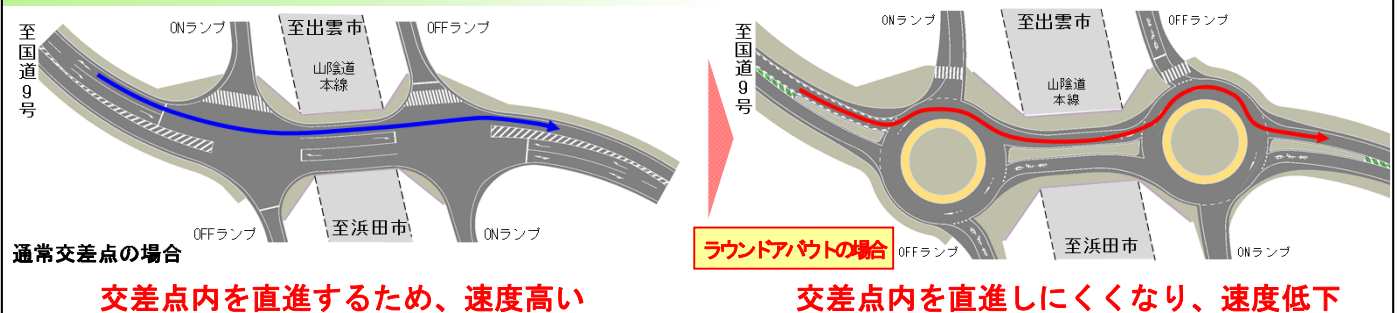
大田朝山インターチェンジでの導入効果

◆重大事故の減少

●交差点内の衝突リスクが大幅に低下します

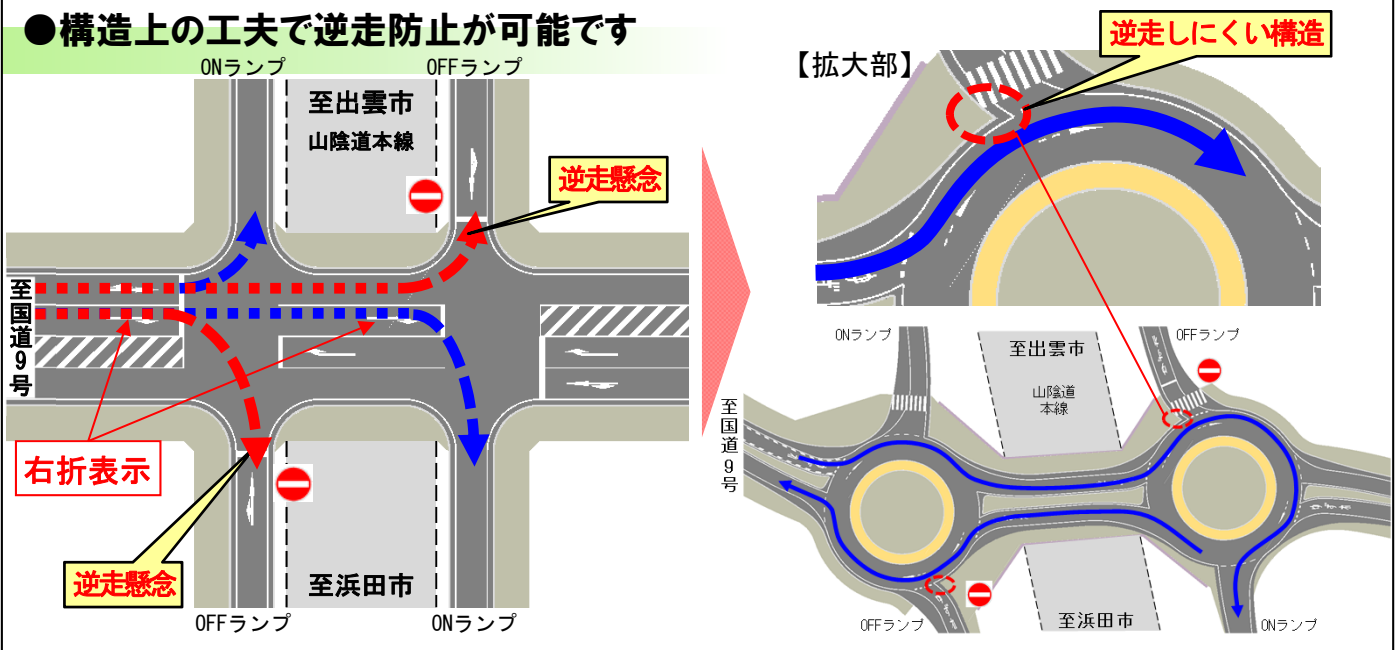


●速度が抑制され重大事故減少につながります

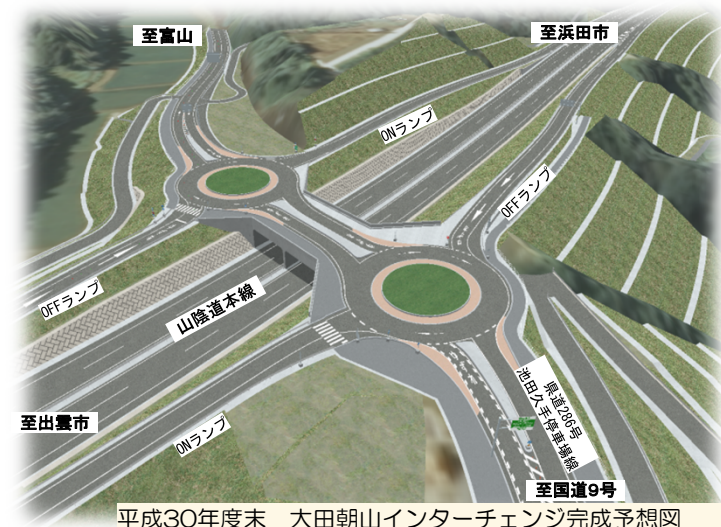


◆逆走防止

●構造上の工夫で逆走防止が可能です



大田朝山インターチェンジ ラウンドアバウトの通り方

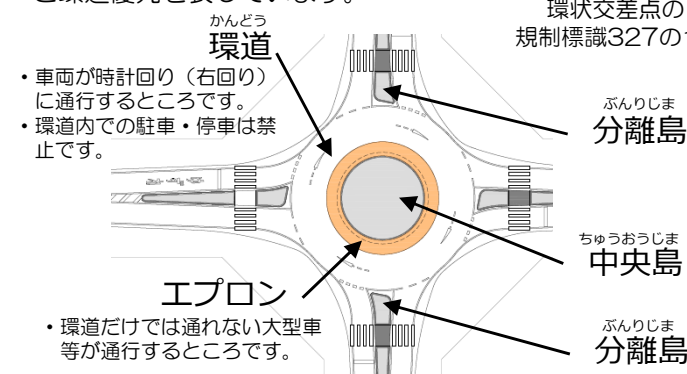


ラウンドアバウトとは

- ・ラウンドアバウトとは、環道、中央島、エプロン、分離島等で構成された円形の平面交差点です。
- ・ラウンドアバウトでは、環道を時計回り（右回り）に通行し、この環道を通行する車両は、環道へ進入する車両より優先となります。
- ・日本では、右の規制標識があるラウンドアバウトのことを環状交差点と呼び、この規制標識で、時計回り（右回り）と環道優先を表しています。



環状交差点の
規制標識327の10



ラウンドアバウト(環状交差点)の通行方法

①時計回り（右回り）通行

- ・環道内は右回り。左回り禁止です。
- ・入るときは徐行しましょう。



②環道優先で通行

- ・環道内を走行している車両が優先です。
- ・環道内での駐車・停車は禁止です。



③出るときに合図(ウィンカー)

- ・左折の合図は出ようとする地点の直前の出口の側方を通過したときです。



ラウンドアバウトの場所

住所：島根県大田市朝山町朝倉



国土交通省 松江国道事務所 計画課（問合せ窓口）
TEL:(0852)26-2131 FAX:(0852)25-9438
島根県警察本部 交通規制課 TEL:(0852)26-0110
大田市 建設部 事業推進課
TEL:(0854)82-1600 FAX(0854)82-9732

平成30年1月

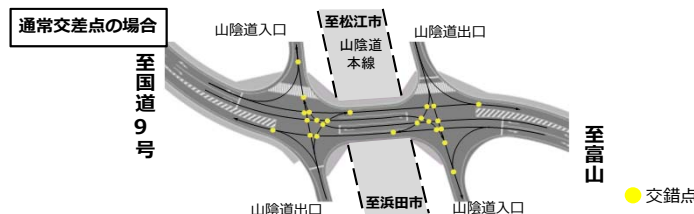
大田朝山インターチェンジの導入効果

- ・大田朝山インターチェンジにラウンドアバウトを導入することにより、さまざまな効果が期待できます。

安全性

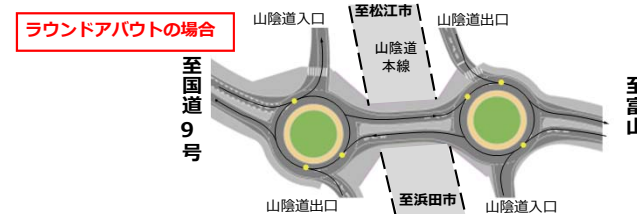
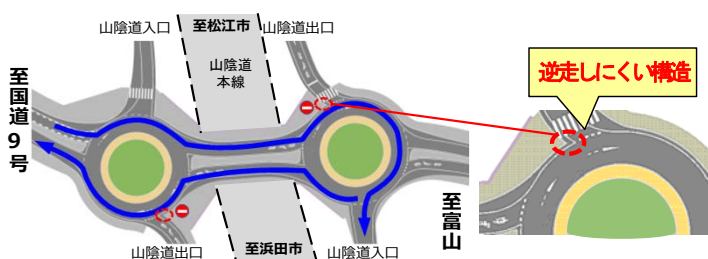
○重大事故の減少

- ・交差点内の交錯点が少なくなるため、重大事故の発生する危険性が低下します。



○逆走防止の効果

- ・高速道路（山陰道）の逆走を防止します。



その他

円滑性

- ・信号による停止がない
- ・一時停止がない

無駄な待ち
時間の解消

環境性

- ・燃料ガスと排出ガス削減
- ・信号機の電力が不要

CO₂の削減

災害時

- ・信号機がないため、停電時にも通行可能

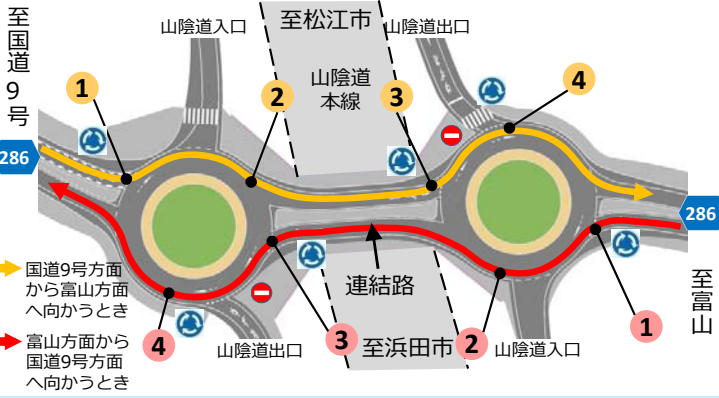
災害に強い

大田朝山インターチェンジラウンドアバウトの通行方法

自動車の通行方法

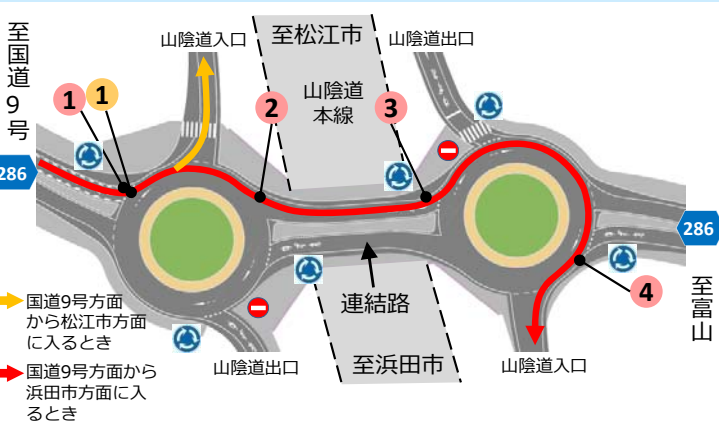


県道286号を直進するとき



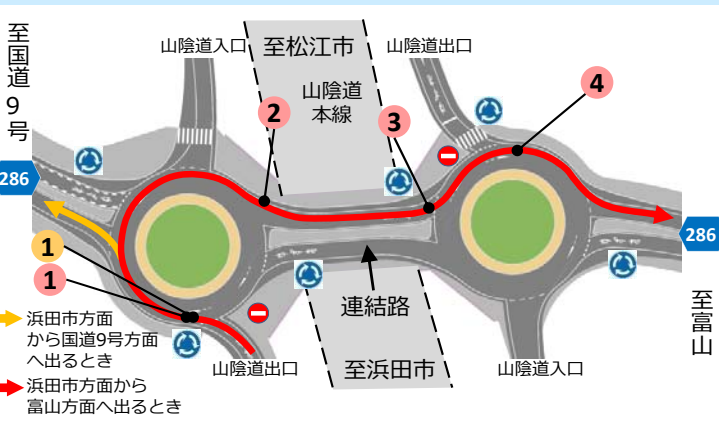
- 国道9号方面から富山方面へ向かうとき
 - 1 1つ目のラウンドアバウトの環道に左折で入り、環道内を時計回りに通行します。
 - 2 松江市方面への山陰道入口を通過したら左折の合図を出し、環道から連結路へ左折して出ます。
 - 3 連結路を通り、2つ目のラウンドアバウトの環道に左折で入り、環道内を時計回りに通行します。
 - 4 松江市方面からの山陰道出口（1つ前の出口）を通過したら左折の合図を出し、環道から県道286号を富山方面へ左折して出ます。
- 富山方面から国道9号方面へ向かうとき
- 1 国道9号方面から富山方面へ向かうときも同様の通行方法となります。

山陰道（高速道路）に入るとき【国道9号方面から入るときを例とする】



- 国道9号方面から松江市方面へ向かうとき
 - 1 1つ目のラウンドアバウトの環道に左折で入った後、すぐに左折の合図を出し、松江市方面の山陰道入口へ環道から左折して出ます。
- 国道9号方面から浜田市方面へ向かうとき
- 1 1つ目のラウンドアバウトの環道に左折で入り、環道内を時計回りに通行します。
- 2 松江市方面への山陰道入口を通過したら左折の合図を出し、環道から連結路へ左折して出ます。
- 3 連結路を通過し、2つ目のラウンドアバウトの環道に左折して入り、環道内を時計回りに通行します。
- 4 富山方面から県道286号への出口（1つ前の出口）を通過したら左折の合図を出し、環道から浜田市方面への山陰道入口へ左折して出ます。
- 富山方面から山陰道入口へ入るときも同様の通行方法となります。

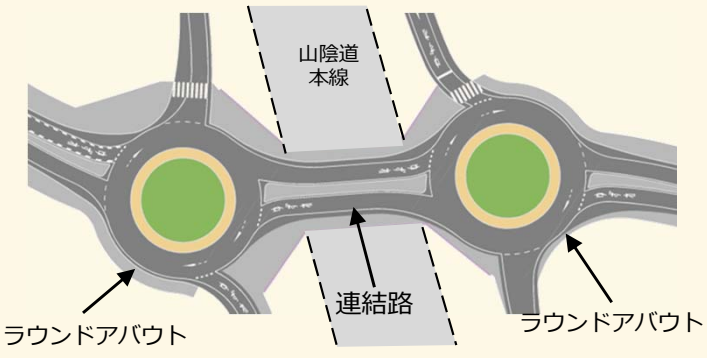
山陰道（高速道路）を出るとき【浜田市方面から出るときを例とする】



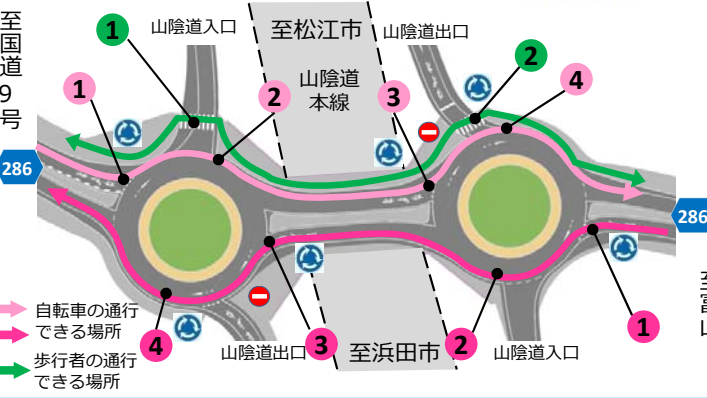
- 浜田市方面から国道9号方面に向かうとき
 - 1 1つ目のラウンドアバウト環道に左折で入り、すぐに左折の合図を出し、環道から県道286号の国道9号方面へ左折して出ます。
- 浜田市方面から富山方面に向かうとき
- 1 1つ目のラウンドアバウトの環道に左折で入り、環道内を時計回りに通行します。
- 2 浜田市方面への山陰道入口を通過したら左折の合図を出し、環道から連結路へ左折して出ます。
- 3 連結路を通り、2つ目のラウンドアバウトの環道に左折して入り、環道内を時計回りに通行します。
- 4 松江市方面からの山陰道出口（1つ前の出口）を通過したら左折の合図を出し、環道から県道286号を富山方面に左折して出ます。
- 松江市方面からも同様の通行方法となります。

大田朝山インターチェンジラウンドアバウトの特徴

・大田朝山インターチェンジのラウンドアバウトは、2つのラウンドアバウトが隣接し、連結路によって結ばれた、めがね型のラウンドアバウトになっています。通称『ダブルラウンドアバウト』といいます。



自転車、歩行者の通行方法



- 自転車の場合
 - 1 国道9号方面から1つ目のラウンドアバウトの環道に左折で入り、環道の左端を時計回りに通行します。
 - 2 松江市方面への山陰道入口を通過したら、環道から連結路へ左折して出ます。
 - 3 連結路を通り、2つ目のラウンドアバウトの環道に左折して入り、環道内を時計回りに通行します。
 - 4 松江市方面からの山陰道出口を通過したら、環道から富山方面へ左折して出ます。
 - 1～4 富山方面からも、同様の通行方法となります。
- 歩行者の場合
- 1 ラウンドアバウトでは、歩道や横断歩道があるところを通行します。
- 2 横断時は安全確認の上、横断歩道を利用し通行します。